札幌市真駒内緑コミュニティセンター内

札幌市真駒内シニア会館の設置

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉札幌市真駒内シニア会館の設置
（札幌市真駒内緑コミュニティセンター内）

〈提案の趣旨〉

2014年現在真駒内地区の65歳以上高齢者（以下シニアと呼びます）は、7,167人、総人口24,586人の29%を占めています。2040年には9,000人、総人口17,977人の50.5%に達すると、推計されています。一方0～14歳の年少人口は、2,076人から、1,269人と46.8%の減少が見込まれています。

今回の目真駒内緑小学校廃校の活用については、シニアが病がねらく楽い、学び、活性、やりがいとバイタリティを地域づくりに生かす、65歳から終活までのライフプラン設計の場として、近隣各地のシニア級、「札幌市真駒内シニア会館」の設置について提案いたします。

① 2010-2040年北海道・札幌市・南区・真駒内人口の推移

年 / 区分	2010	2040	2010	2040	2010	2040	2010	2040
	0～14歳		15～64歳		65歳以上		合計	
北海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
札幌市	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
白石区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
厚別区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豊平区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清田区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中央区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
手稲区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南区	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
真駒内	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

② 南区の活力創造人、高齢社会の活性化を柱に!!

下記のとおり、提案テーマについて、①2014年～2040年の北海道、札幌市、南区、真駒内の人口の推移と問題点、②シニアのキャリアと時間を地域づくりに生かす、③札幌市真駒内シニア会館の設置（旧真駒内緑小学校活用）、④高齢社会札幌市南区創生へのシナリオの、地・系・新・結 4つの視点を整理して見ました。

先輩の日本創生会議の2040年には北海道188区・市・町・村のうち147区・市・町・村が若年女性の人口減で、消滅の危機に陥ずる。この147の中には、札幌市南区・豊平区も含まれるという衝撃的な報告には驚かされ、データを整理してみて、南区の流入人口は、2014年と2040年と対比で、22,414人→44,303人、96%にまで増加するの推移向けでも、改めて危機感を覚えるものでした。

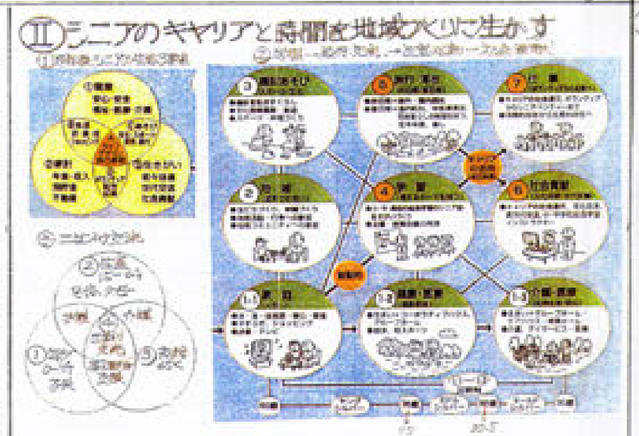
この地域コミュニティセンターシステムは、全市的な展開から見ては弱いでしょうか。

④高齢の知恵と、意志を生かして

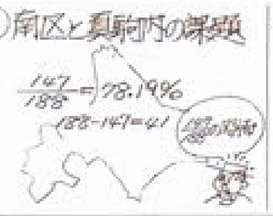
18年前文化ホールに勤務して、「文化ホールは、地域文化の創造の場、発信の場である」と、つくづく感じていました。児童出演の共者と何かでの人づくりの場として、永年使用され、地域に愛されて来た、小・中学校、公民館として、シニアの学習の場、三世代交流の拠点として再活用する。私は真駒内は単なる人々の想いと願いが込められていると思います。

シニアの学習の拠点として、原点を求め、新らしい挑戦にしたいと考えています。

① 2010-2040年北海道・札幌市・南区・真駒内人口の推移



② 南区と真駒内の課題



○南区と真駒内の課題

日本創生会議は、2040年現在の人口減少（女子）により、全国188区・市町村のうち147カ所が、消滅の高危険であるとの予想を発表。札幌市内でも豊平区と南区が含まれているとの報告は、衝撃的なものでした。

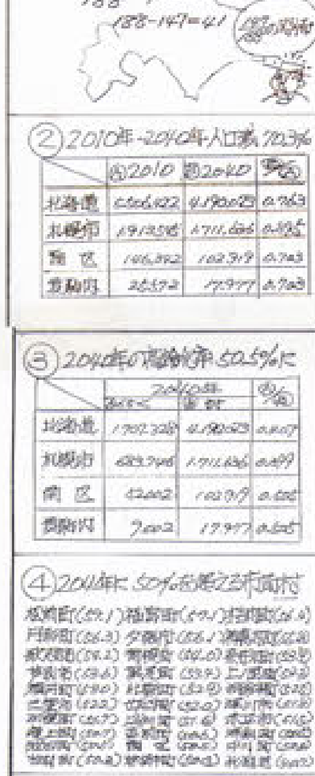
③ 2010年・2040年人口減 70.3%

	④2010	⑤2040	⑤/④
北海道	[illegible]	[illegible]	0.703
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.703
南区	[illegible]	[illegible]	0.703
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.703

○南区の人口は2040年までの30年間で、29.3%まで減少。北海道は0.703、札幌市は0.703。にも関しても減少率の大きいのがわかります。

（注）この他の市町村区とくらべても、中央区は唯一、0.7台は、他区、他市町村は0.8以上となっています。

④ 2014年に50%を超える市町村



○2040年に、高齢化率が50%を超える市町村は、右のとおり北海道の59.1%を筆頭に23位の夕張市まで並び、札幌市南区は、26位となります。

上位1/5位は、住民1/2の人のうち6人が高齢者。どんな社会が想定されるのでしょうか。

⑤ 生産世代は43%に減少

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 15-64	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.518
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.522
南区	[illegible]	[illegible]	0.530
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.530

○南区の15～64歳生産世代の人口に占める比率は、2010年の0.6台から2040年に0.530に減少します。北海道の0.518～0.530、札幌市の0.522～0.530と比較しても かなり厳しいことがわかります。また2010年と2040年の対比（南区）は、総数=0.47%と半減が明確されています。

⑥ 年少人口は、10.6～6.5%に

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 0-14	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.088
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.079
南区	[illegible]	[illegible]	0.065
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.065

○南区の0～14歳、年少人口の総人口に占める比率は6.0%と、北海道の0.088、札幌市の0.079よりも少ない。市内の7区と比較しても最下位です。2010年と比べると、15,628人から6,076人へ、92.3%まで、半分以下に減少します。

⑦ 南区2014年と2040年の対比

年区分	2014	2040	⑥/⑤	⑦/⑥
65<	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
15-64	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
0-14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

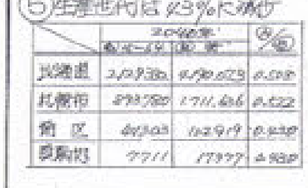
○南区の2014年現在の人口と2040年の対比は表⑦のとおりです。

2014年から2040年までの人口増減比率は、⑥と⑦のとおり、26年間平均の⑥は96%、65<の高齢者は、+107%増、15-64は、15%減、0-14は31%減、総計で8,603人減、総数で16%減です。

⑧ 南区まちづくりセンター別では、（町名、6区内+3区境）

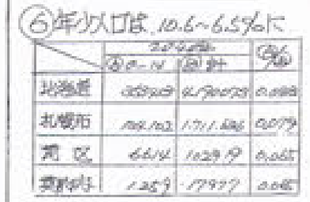
○南区の9つのまちづくりセンターは、分は地区内会区分と一致しています。豊平→真駒内→石山の順は、国道453号線と真駒内川、藻岩下→澄川→石山→常盤→清田→定山渓は、国道230号線と豊平川の流れに沿って発達しました。（人口は、26.3現在）

⑨ 豊平川と真駒内川、両岸の発展、地域の歴史



○川の上流へ下流域をはぐくむ、地域の歴史とコミュニティ。南区は、豊平川の少年の頃、ともに、成長されるの流れ、ヘ下がる3区境、と、豊平川で結ばれた6区境が、神楽、子を育て、連携して来ました。山高い所から、地域を一望できる観望台が、人情味あふれる、お役を通って来ることでしょうか。

⑩ 札幌市民の憩い、癒しの場としての南区



○藻岩、すずらん公園、豊平館の公園、南区の誇りの場。定山渓温泉、野外劇場、音楽堂、南区は、心癒やしの高原台、ちょっと心癒しの場、憩いとやすらぎの場として、北海道、なるよ、と、PR、注目の南区、から、ちょっと、同じ感覚で、楽器して、行きたいものです。

① 南区真駒内緑コミュニティセンター内、全体の名称

旧真駒内緑小学校の活用については、①子どもの学習活動の場、②高齢者・子育て支援センター（ちあふる・みずほ）③札幌市立大学まちづくりの拠点スペース、が検討されています。シニアの活動拠点「札幌市真駒内シニア会館」が、設置されず全体をそのまま、学習と交流の場が創出します。この巨大施設のための、閉じもいうべき、交流拠点の施設を、「札幌市真駒内緑コミュニティセンター」と名付けてはいかがでしょうか。

② 将来南区では、10～20の地域コミュニティセンターが必要に

南区では、小学校22校、中学校10校、児童会館18館ありますが、2014年までの24年間で、児童・生徒数は46.8%に減少、シニアは125.6%の1,803人が増加します。小・中学校も半数の閉校が検討され、地域コミセンが、何とか10～12の数に絞れそう。

③ 2014年の高齢化率50.5%に

	2014年		⑤/④
	④ 総人口	⑤ 65<	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.307
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.299
南区	[illegible]	[illegible]	0.505
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.505

○南区の高齢化率は、2014年に50.5%と予想されています。北海道は0.307、札幌市は0.299と、10人のうち4人が65歳以上に対し、南区、真駒内は、住民2人のうち1人は65歳以上の高齢者となります。

④ 2014年に50%を超える市町村

夕張市（59.1）福島町（57.1）江差町（56.4）
戸井町（56.3）今金町（55.7）神恵内村（55.6）
歌志内市（54.2）奥尻町（54.0）長万部町（53.8）
神流町（53.6）真室川町（53.5）上ノ国町（53.3）
鶴川町（53.0）北竜町（52.9）南幌町（52.8）
仁宇布（52.2）古平町（52.0）雄武町（51.8）
美郷町（51.7）上砂川町（51.6）武豊町（51.6）
瀬戸内町（51.5）函館市（51.4）増毛町（51.3）
留萌市（51.2）釧路市（51.1）神恵内村（50.8）
[illegible]

⑤ 生産世代は43%に減少

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 15-64	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.518
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.522
南区	[illegible]	[illegible]	0.530
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.530

○南区の15～64歳生産世代の人口に占める比率は、2010年の0.6台から2040年に0.530に減少します。北海道の0.518～0.530、札幌市の0.522～0.530と比較しても かなり厳しいことがわかります。また2010年と2040年の対比（南区）は、総数=0.47%と半減が明確されています。

⑥ 年少人口は、10.6～6.5%に

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 0-14	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.088
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.079
南区	[illegible]	[illegible]	0.065
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.065

○南区の0～14歳、年少人口の総人口に占める比率は6.0%と、北海道の0.088、札幌市の0.079よりも少ない。市内の7区と比較しても最下位です。2010年と比べると、15,628人から6,076人へ、92.3%まで、半分以下に減少します。

⑦ 南区2014年と2040年の対比

年区分	2014	2040	⑥/⑤	⑦/⑥
65<	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
15-64	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
0-14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○南区の2014年現在の人口と2040年の対比は表⑦のとおりです。

2014年から2040年までの人口増減比率は、⑥と⑦のとおり、26年間平均の⑥は96%、65<の高齢者は、+107%増、15-64は、15%減、0-14は31%減、総計で8,603人減、総数で16%減です。

⑧ 南区まちづくりセンター別では、（町名、6区内+3区境）

○南区の9つのまちづくりセンターは、分は地区内会区分と一致しています。豊平→真駒内→石山の順は、国道453号線と真駒内川、藻岩下→澄川→石山→常盤→清田→定山渓は、国道230号線と豊平川の流れに沿って発達しました。（人口は、26.3現在）

⑨ 豊平川と真駒内川、両岸の発展、地域の歴史

○川の上流へ下流域をはぐくむ、地域の歴史とコミュニティ。南区は、豊平川の少年の頃、ともに、成長されるの流れ、ヘ下がる3区境、と、豊平川で結ばれた6区境が、神楽、子を育て、連携して来ました。山高い所から、地域を一望できる観望台が、人情味あふれる、お役を通って来ることでしょうか。

⑩ 札幌市民の憩い、癒しの場としての南区

○藻岩、すずらん公園、豊平館の公園、南区の誇りの場。定山渓温泉、野外劇場、音楽堂、南区は、心癒やしの高原台、ちょっと心癒しの場、憩いとやすらぎの場として、北海道、なるよ、と、PR、注目の南区、から、ちょっと、同じ感覚で、楽器して、行きたいものです。

⑪ 定年から90歳、どう過すか

○現在の65歳から90歳まで25年間の余生をどう過すか。

上記（Ⅱ）の②から右上イコール部分④の経済活動（学習）から⑤の消費、⑥の社会貢献、⑦の生涯活動の三要素を考えてみました。もちろん、他人頼者健康、自分づくりの①～③、⑧～⑩の活動とも合い絡みもあります。

⑫ 増大する定年後の余剰時間

○増大する定年後の余剰時間

現役時代の勤務時間は、1日8時間×年間240日×40年間で、116,800時間。定年後は、1日食事・睡眠を、1日1時間、残り余剰は、1年365日×30年間で、10,950時間。

$\frac{116,800}{10,950}$ ≒1.996、ちょうど2倍になります。

⑬ 定年後、シニアのライフステージ

○定年後シニアのライフステージと人類

定年後の生活を、⑤と⑥、⑦と⑧の組で区切ると、Ⅰ～Ⅳのとおりとなります。左側の縦軸は、年金の年収と、就労者の収入です。Ⅰは現役中に到達、Ⅱは定年後オ、Ⅲは社会貢献、Ⅳは生涯現役、⑦は生涯現役、⑦の斜線部分がシニアのキャリアの活用、実践領域です。

⑭ 人間の欲求5段階説（マズロー）

○マズローの人間の欲求5段階説

①の欲求が満足すると②の欲求が生じ、次いで③から⑤まで、より高次元へと積み上げて行きます。

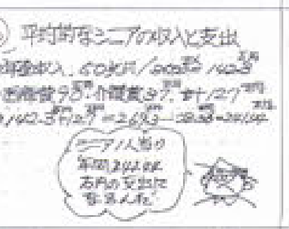
⑤の自己実現の欲求は年齢が高くなるにつれ、より強くなる傾向があります。文筆活動、音楽会、研究発表、何事も、生涯、その他の活動分野、活動中、命の限り続けます。

⑮ 白鳥の歌現象（古代ローマの言葉）

○白鳥の歌現象（古代ローマの言葉）

死期の迫った白鳥がについてよく知られているものに「白鳥の歌現象」があります。サイレントは、クラシック音楽の生涯を通し作品を残して行く中で、晩年に至るに従って、深みのある作品が作られ、傾向は、最後の「白鳥の歌現象」と呼ばれ、高齢期の創造性と知恵との結合の結果と結論付けています。

⑯ 平均的なシニアの収入と支出



○平均的なシニアの収入と支出、

年金の収入は、60万円/240日=1,023円/日、医療費9万円、介護費9万円、計27万円、0.023万円/日=2,683-2,023=660円。

シニア人形の年間240日分の支出で「ちょっと」

⑰ シニア3人の消費が1人増

○シニア1人×3=0.33人

0.33人×2万円×0.75=0.33人×1.5万円

○高齢者3人の消費が1人増の意味

消費は、0.33人×2万円×0.75=0.33人×1.5万円

0.33人×1.5万円×0.75=0.33人×1.125万円

つまり、年収0.33人分の消費が生み出出され、0.8人増の経済効果と合わせ、1.8人の生活が確保します。

⑱ 60人のシニアが集まると

○60人のシニアが集まると

(1) 生涯学習等 1/60=3人
(2) 介護予防 1/5=12人
(3) 病院から 1/3=20人
(4) 老人ホーム 2/3=40人

となります。全国のデータでは、介護予防は1/7ですが、札幌市は、特に高齢化率が高いのでしょうか。

⑲ 生涯現役、生産活動に参加

○生涯現役、生産活動に参加

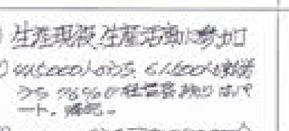
(1) 札幌市のシニア人口は、約14.6%。

(2) 91,000人のうち、61,000人就業、うち、96%の社員、残りはパート、職人。

(3) 91,000人のうち、元気な方は、280,000人。

280,000人の3%が、参加すると、時給800円×8時間×365日=2,102万円となります。2014年現在

⑳ 社会貢献、活動にキャリア活用



○社会貢献、活動にキャリア活用

教育のシニア人材バンクに、教授、講師を登録。「教授ボランティア」、「子育て、工作」、様々な活動活動の、ちょっと、を通して、生涯学習、文化の、ほかに、ボランティアの、ちょっと、ボランティアも、…。

① 南区真駒内緑コミュニティセンター内、全体の名称

旧真駒内緑小学校の活用については、①子どもの学習活動の場、②高齢者・子育て支援センター（ちあふる・みずほ）③札幌市立大学まちづくりの拠点スペース、が検討されています。シニアの活動拠点「札幌市真駒内シニア会館」が、設置されず全体をそのまま、学習と交流の場が創出します。この巨大施設のための、閉じもいうべき、交流拠点の施設を、「札幌市真駒内緑コミュニティセンター」と名付けてはいかがでしょうか。

② 将来南区では、10～20の地域コミュニティセンターが必要に

南区では、小学校22校、中学校10校、児童会館18館ありますが、2014年までの24年間で、児童・生徒数は46.8%に減少、シニアは125.6%の1,803人が増加します。小・中学校も半数の閉校が検討され、地域コミセンが、何とか10～12の数に絞れそう。

③ 2014年の高齢化率50.5%に

	2014年		⑤/④
	④ 総人口	⑤ 65<	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.307
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.299
南区	[illegible]	[illegible]	0.505
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.505

○南区の高齢化率は、2014年に50.5%と予想されています。北海道は0.307、札幌市は0.299と、10人のうち4人が65歳以上に対し、南区、真駒内は、住民2人のうち1人は65歳以上の高齢者となります。

④ 2014年に50%を超える市町村

夕張市（59.1）福島町（57.1）江差町（56.4）
戸井町（56.3）今金町（55.7）神恵内村（55.6）
歌志内市（54.2）奥尻町（54.0）長万部町（53.8）
神流町（53.6）真室川町（53.5）上ノ国町（53.3）
鶴川町（53.0）北竜町（52.9）南幌町（52.8）
仁宇布（52.2）古平町（52.0）雄武町（51.8）
美郷町（51.7）上砂川町（51.6）武豊町（51.6）
瀬戸内町（51.5）函館市（51.4）増毛町（51.3）
留萌市（51.2）釧路市（51.1）神恵内村（50.8）
[illegible]

⑤ 生産世代は43%に減少

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 15-64	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.518
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.522
南区	[illegible]	[illegible]	0.530
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.530

○南区の15～64歳生産世代の人口に占める比率は、2010年の0.6台から2040年に0.530に減少します。北海道の0.518～0.530、札幌市の0.522～0.530と比較しても かなり厳しいことがわかります。また2010年と2040年の対比（南区）は、総数=0.47%と半減が明確されています。

⑥ 年少人口は、10.6～6.5%に

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 0-14	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.088
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.079
南区	[illegible]	[illegible]	0.065
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.065

○南区の0～14歳、年少人口の総人口に占める比率は6.0%と、北海道の0.088、札幌市の0.079よりも少ない。市内の7区と比較しても最下位です。2010年と比べると、15,628人から6,076人へ、92.3%まで、半分以下に減少します。

⑦ 南区2014年と2040年の対比

年区分	2014	2040	⑥/⑤	⑦/⑥
65<	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
15-64	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
0-14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○南区の2014年現在の人口と2040年の対比は表⑦のとおりです。

2014年から2040年までの人口増減比率は、⑥と⑦のとおり、26年間平均の⑥は96%、65<の高齢者は、+107%増、15-64は、15%減、0-14は31%減、総計で8,603人減、総数で16%減です。

⑧ 南区まちづくりセンター別では、（町名、6区内+3区境）

○南区の9つのまちづくりセンターは、分は地区内会区分と一致しています。豊平→真駒内→石山の順は、国道453号線と真駒内川、藻岩下→澄川→石山→常盤→清田→定山渓は、国道230号線と豊平川の流れに沿って発達しました。（人口は、26.3現在）

⑨ 豊平川と真駒内川、両岸の発展、地域の歴史

○川の上流へ下流域をはぐくむ、地域の歴史とコミュニティ。南区は、豊平川の少年の頃、ともに、成長されるの流れ、ヘ下がる3区境、と、豊平川で結ばれた6区境が、神楽、子を育て、連携して来ました。山高い所から、地域を一望できる観望台が、人情味あふれる、お役を通って来ることでしょうか。

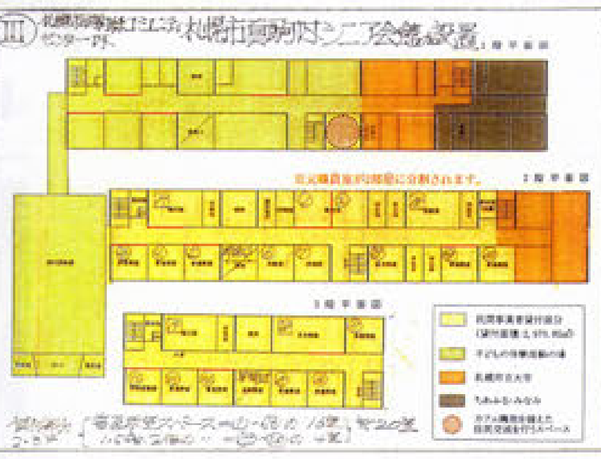
⑩ 札幌市民の憩い、癒しの場としての南区

○藻岩、すずらん公園、豊平館の公園、南区の誇りの場。定山渓温泉、野外劇場、音楽堂、南区は、心癒やしの高原台、ちょっと心癒しの場、憩いとやすらぎの場として、北海道、なるよ、と、PR、注目の南区、から、ちょっと、同じ感覚で、楽器して、行きたいものです。

Ⅰ 2010-2040年北海道・札幌市・南区・真駒内人口の推移

Ⅱ シニアのキャリアと時間を地域づくりに生かす

Ⅲ 札幌市真駒内シニア会館の設置（旧真駒内緑小学校活用）



Ⅳ 超高齢社会、札幌南区創生へのシナリオ

① 南区と真駒内の課題

○南区と真駒内の課題

日本創生会議は、2040年現在の人口減少（女子）により、全国188区・市町村のうち147カ所が、消滅の高危険であるとの予想を発表。札幌市内でも豊平区と南区が含まれているとの報告は、衝撃的なものでした。

② 2010年・2040年人口減 70.3%

	④2010	⑤2040	⑤/④
北海道	[illegible]	[illegible]	0.703
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.703
南区	[illegible]	[illegible]	0.703
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.703

○南区の人口は2040年までの30年間で、29.3%まで減少。北海道は0.703、札幌市は0.703。にも関しても減少率の大きいのがわかります。

（注）この他の市町村区とくらべても、中央区は唯一、0.7台は、他区、他市町村は0.8以上となっています。

③ 2014年の高齢化率50.5%に

	2014年		⑤/④
	④ 総人口	⑤ 65<	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.307
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.299
南区	[illegible]	[illegible]	0.505
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.505

○南区の高齢化率は、2014年に50.5%と予想されています。北海道は0.307、札幌市は0.299と、10人のうち4人が65歳以上に対し、南区、真駒内は、住民2人のうち1人は65歳以上の高齢者となります。

④ 2014年に50%を超える市町村

夕張市（59.1）福島町（57.1）江差町（56.4）
戸井町（56.3）今金町（55.7）神恵内村（55.6）
歌志内市（54.2）奥尻町（54.0）長万部町（53.8）
神流町（53.6）真室川町（53.5）上ノ国町（53.3）
鶴川町（53.0）北竜町（52.9）南幌町（52.8）
仁宇布（52.2）古平町（52.0）雄武町（51.8）
美郷町（51.7）上砂川町（51.6）武豊町（51.6）
瀬戸内町（51.5）函館市（51.4）増毛町（51.3）
留萌市（51.2）釧路市（51.1）神恵内村（50.8）
[illegible]

⑤ 生産世代は43%に減少

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 15-64	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.518
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.522
南区	[illegible]	[illegible]	0.530
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.530

○南区の15～64歳生産世代の人口に占める比率は、2010年の0.6台から2040年に0.530に減少します。北海道の0.518～0.530、札幌市の0.522～0.530と比較しても かなり厳しいことがわかります。また2010年と2040年の対比（南区）は、総数=0.47%と半減が明確されています。

⑥ 年少人口は、10.6～6.5%に

	2040年		⑥/⑤
	⑤ 0-14	⑥ 総人口	
北海道	[illegible]	[illegible]	0.088
札幌市	[illegible]	[illegible]	0.079
南区	[illegible]	[illegible]	0.065
真駒内	[illegible]	[illegible]	0.065

○南区の0～14歳、年少人口の総人口に占める比率は6.0%と、北海道の0.088、札幌市の0.079よりも少ない。市内の7区と比較しても最下位です。2010年と比べると、15,628人から6,076人へ、92.3%まで、半分以下に減少します。

⑦ 南区2014年と2040年の対比

年区分	2014	2040	⑥/⑤	⑦/⑥
65<	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
15-64	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
0-14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○南区の2014年現在の人口と2040年の対比は表⑦のとおりです。

2014年から2040年までの人口増減比率は、⑥と⑦のとおり、26年間平均の⑥は96%、65<の高齢者は、+107%増、15-64は、15%減、0-14は31%減、総計で8,603人減、総数で16%減です。

⑧ 南区まちづくりセンター別では、（町名、6区内+3区境）

○南区の9つのまちづくりセンターは、分は地区内会区分と一致しています。豊平→真駒内→石山の順は、国道453号線と真駒内川、藻岩下→澄川→石山→常盤→清田→定山渓は、国道230号線と豊平川の流れに沿って発達しました。（人口は、26.3現在）

⑨ 豊平川と真駒内川、両岸の発展、地域の歴史

○川の上流へ下流域をはぐくむ、地域の歴史とコミュニティ。南区は、豊平川の少年の頃、ともに、成長されるの流れ、ヘ下がる3区境、と、豊平川で結ばれた6区境が、神楽、子を育て、連携して来ました。山高い所から、地域を一望できる観望台が、人情味あふれる、お役を通って来ることでしょうか。

⑩ 札幌市民の憩い、癒しの場としての南区

○藻岩、すずらん公園、豊平館の公園、南区の誇りの場。定山渓温泉、野外劇場、音楽堂、南区は、心癒やしの高原台、ちょっと心癒しの場、憩いとやすらぎの場として、北海道、なるよ、と、PR、注目の南区、から、ちょっと、同じ感覚で、楽器して、行きたいものです。

⑪ 定年から90歳、どう過すか

○定年から90歳まで25年間の余生をどう過すか。

上記（Ⅱ）の②から右上イコール部分④の経済活動（学習）から⑤の消費、⑥の社会貢献、⑦の生涯活動の三要素を考えてみました。もちろん、他人頼者健康、自分づくりの①～③、⑧～⑩の活動とも合い絡みもあります。

⑫ 増大する定年後の余剰時間

○増大する定年後の余剰時間

現役時代の勤務時間は、1日8時間×年間240日×40年間で、116,800時間。定年後は、1日食事・睡眠を、1日1時間、残り余剰は、1年365日×30年間で、10,950時間。

$\frac{116,800}{10,950}$ ≒1.996、ちょうど2倍になります。

⑬ 定年後、シニアのライフステージ

○定年後シニアのライフステージと人類

定年後の生活を、⑤と⑥、⑦と⑧の組で区切ると、Ⅰ～Ⅳのとおりとなります。左側の縦軸は、年金の年収と、就労者の収入です。Ⅰは現役中に到達、Ⅱは定年後オ、Ⅲは社会貢献、Ⅳは生涯現役、⑦は生涯現役、⑦の斜線部分がシニアのキャリアの活用、実践領域です。

⑭ 人間の欲求5段階説（マズロー）

○マズローの人間の欲求5段階説

①の欲求が満足すると②の欲求が生じ、次いで③から⑤まで、より高次元へと積み上げて行きます。

⑤の自己実現の欲求は年齢が高くなるにつれ、より強くなる傾向があります。文筆活動、音楽会、研究発表、何事も、生涯、その他の活動分野、活動中、命の限り続けます。

⑮ 白鳥の歌現象（古代ローマの言葉）

○白鳥の歌現象（古代ローマの言葉）

死期の迫った白鳥がについてよく知られているものに「白鳥の歌現象」があります。サイレントは、クラシック音楽の生涯を通し作品を残して行く中で、晩年に至るに従って、深みのある作品が作られ、傾向は、最後の「白鳥の歌現象」と呼ばれ、高齢期の創造性と知恵との結合の結果と結論付けています。

⑯ 平均的なシニアの収入と支出

○平均的なシニアの収入と支出、

年金の収入は、60万円/240日=1,023円/日、医療費9万円、介護費9万円、計27万円、0.023万円/日=2,683-2,023=660円。

シニア人形の年間240日分の支出で「ちょっと」

⑰ シニア3人の消費が1人増

○シニア1人×3=0.33人

0.33人×2万円×0.75=0.33人×1.5万円

0.33人×1.5万円×0.75=0.33人×1.125万円

つまり、年収0.33人分の消費が生み出出され、0.8人増の経済効果と合わせ、1.8人の生活が確保します。

⑱ 60人のシニアが集まると

○60人のシニアが集まると

(1) 生涯学習等 1/60=3人
(2) 介護予防 1/5=12人
(3) 病院から 1/3=20人
(4) 老人ホーム 2/3=40人

となります。全国のデータでは、介護予防は1/7ですが、札幌市は、特に高齢化率が高いのでしょうか。

⑲ 生涯現役、生産活動に参加

○生